

ガスが突然止まったら!

▼まずは、ガスのしゃ断原因と安全の確認をしましょう。



ガス止

ガスの使用中、震度5相当以上の地震が発生した場合。



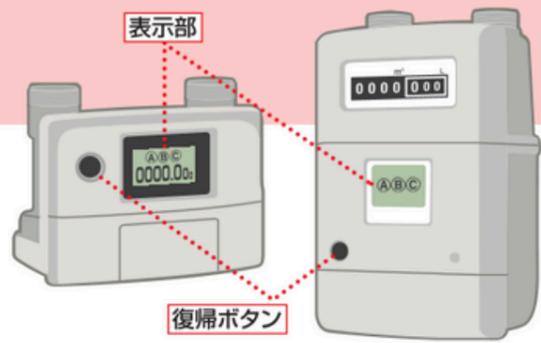
ガス止

ガス器具の消し忘れなど、長時間ガスを使用され続けた場合。



ガス止

ゴム管の外れなど、極めて多くのガスが流れた場合。



▼ガスメーターの復帰方法

- 器具栓を**すべて閉めて**ください。
 - 使っていないガスの元栓が閉まっていることを確認してください。
- 左側の復帰ボタンを押してください。
 - 「ガス止」の文字が消えます。
- 液晶の文字とランプが点滅します。
 - 1分間お待ちください。
 - ※ランプが復帰ボタン部にあるものもあります。
- 液晶の文字とランプが消えます。
 - 復帰完了です。
 - ガスは使えます。

ガス漏れやガス臭いときは復帰操作は行わず、LPガス販売店が緊急時連絡先に連絡してください。

※ガスを使用していないときは、ガスをしゃ断しない機能になっています。
※復帰操作をしても「復帰」しない場合は復帰操作を繰り返さず、LPガス販売店の点検を受けてください。

⚠️ガス器具は10年経ったら点検を依頼しましょう。

長期間使用しているガス器具は、部品などの劣化により事故発生のおそれがあります。10年経ったら、メーカー又はガス器具販売店へ点検を依頼してください。



ガス器具の例

ガス器具・換気扇等の点検・修理の連絡先 (記入欄)			
品名・器具名	メーカー名	設置年月	点検・修理の連絡先
①			
②			
③			
④			
⑤			

※点検・修理の連絡先は、あらかじめ取扱説明書や器具メーカーのホームページ等で確認してください。

LPガス緊急時の連絡先	LPガス販売店名
連絡先: (株)マルユウエナジー 電話: 098-876-0278	(株)マルユウエナジー 098-876-0278

緊急時の連絡先は24時間対応しています。

家庭用LPガス保安ガイド

安全・安心にご利用いただくために

キッチンやリビングなど、ご家族の目に付くところに置いてください。

⚠️ガス臭いと感じたら、その時の対応は!

✔️火気は絶対に使用しないでください。



- 着火源となる裸火、換気扇、電気などのスイッチにも絶対手を触れないでください。
- 電気のスイッチは切る時にも火花がでます。切ることもしないでください。

✔️戸や窓を大きくあけてガスを外に追い出して。



✔️すべての器具栓、ガスの元栓を閉めて。



- LPガスは空気より重いため、低いところに溜まったガスにもご注意ください。
- メーターガス栓か容器バルブは必ず閉めてください。
- メーターガス栓の位置がわからない時は、あらかじめLPガス販売店に確認してください。

✔️ガス漏れの状況をすぐに連絡してください。



- お名前
- ご住所
- ご近所の目標
- その場の状況

「緊急時の連絡先」の指示に従ってください。

○安全確認が済むまでガスは使用しないでください。

◎緊急時の連絡先は、あらかじめLPガス販売店に確認してください。◎緊急時の連絡先は、24時間対応しています。

LPガス安全委員会



経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry

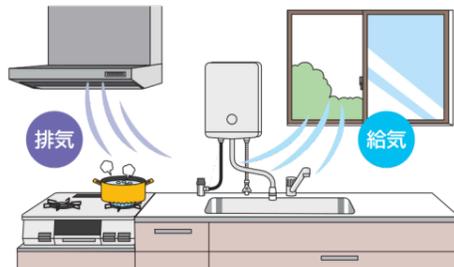


CO中毒 事故を防ぐ ために！



換気の確認

- ガスを使う場合は換気を習慣に！



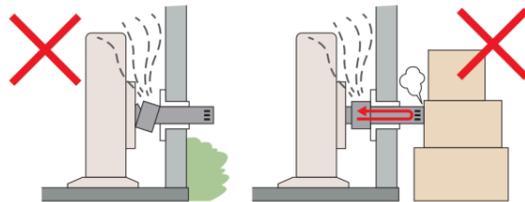
ストーブ、ガスファンヒーターを ご使用の皆さまへ

1時間に1~2回、窓を開けて
換気してください。



屋外から給排気する燃焼機器は

- 排気筒がはずれていないか！
- 排気口がふさがっていないか！
- 排気筒の先端が屋外に出ているか！



室内に煙突(排気筒)が付いている湯沸
器や風呂釜、安全装置の付いていない
ガス器具をお使いの皆さまは、販売店へ
ご相談ください。

ガス漏れ 事故を防ぐ ために！



- 点火の確認
- 立ち消え
- 点火の繰り返し・再点火

- 点火を確認しないことによる事故が発生しています。必ず目で確認を！
- 点火操作を繰り返して、器具に溜まったガスに引火する事故が発生しています。再点火する時はご注意ください！

※乾電池が切れていると点火できません。
※器具が点火しにくい場合は、すぐに器具
メーカーに点検を依頼してください。

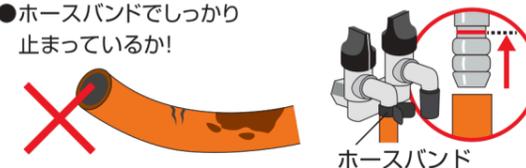
使っていないガスの元栓は

- つまみは「閉」になっているか！
※つまみを間違っあけてしまわ
ないようガス栓カバーをつけて
おきましょう。
- ガスの元栓のゴムキャップが
ついているか！



ゴムホース(ゴム管)は

- 焼けこげやひび割れができていないか！
- ガスの元栓の赤い線まで差し込まれているか！
- ホースバンドでしっかり
止まっているか！



日々、皆さまに行っていただきたい 安全チェックのポイント！

CO(一酸化炭素)中毒について！

燃焼器具は空気(酸素)が不足したままで使用していると不完全燃焼を起こし、CO(一酸化炭素)が発生します。COは毒性がとても強く少し吸い込んだだけでも頭痛・吐き気などがし、気がついた時には動けず死にいたる危険性があります。CO警報器の設置をおすすめします。

もしも・・・の ために！



- CO警報器は
- ガス警報器は

- 掃除機などの使用後は、必ず電源が元通りになっているか！
- コンセントから抜けていないか！



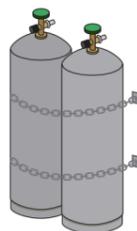
ガス警報器の例 CO警報器の例

ガス警報器やCO警報器を設置すれば、異常をブザーや音声でお知らせするため安心です。

警報器の交換期限は5年です。

LPガス容器は

- くさりの2重掛けを推奨
- 火気との距離は2m以上に！



雪害対策

- 雪で調整器やガスメーターなどがこわれる恐れがあります。雪囲いや容器小屋の点検をお願いします。
- 雪おろしの時は、LPガス設備に損傷を与えないよう注意してください。



地震・火災・災害が起きたら

避難するときやガスの臭いがするときは、ガスの使用をやめて、器具栓、ガスの元栓、メーターガス栓および容器バルブをすべて閉めてください。

ガスの元栓



メーターガス栓



容器バルブ



※家屋等に被害が発生した地域では、ガス漏れや容器の点検を順次行いますので、点検の際にはご協力をお願いいたします。

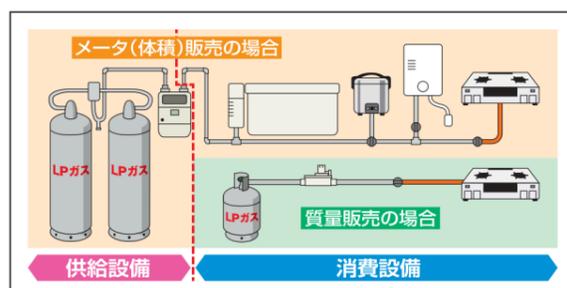
こんなときはすぐに連絡を！

炎 操作 器具	炎が安定しない	炎が黄色い	炎のない部分がある
	使用中に消火した	爆発的に着火する	火移りにくい
	点火しにくい	点火しない	
	異常音をたて燃える	ガスの臭いがする	
	運転中に排気ガスの臭いがする		

- 器具メーカーかLPガス販売店に、すぐに点検を依頼してください。
- 点検・調査は無料で行いますが、修理や改善が必要なときは有料となります。

ガス器具の安全管理について

- LPガス容器からガスメーターの出口までは「供給設備」と呼ばれ、LPガス販売店が責任を持って点検と維持管理を行います。
- ガスメーターの出口からガス器具までは「消費設備」と呼ばれ、法律上の管理責任は消費者の皆さまにあります。日常の点検・維持管理は、ふだんLPガスを使っている皆さまで行ってください。



LPガスの保安業務について

LPガスを安全にお使いいただくために、法律に基づき定期的に周知や消費者宅の点検・調査の保安業務を行います。認定を受けた保安機関に販売店が委託している場合があります。保安機関が訪ねた時はご協力をお願いいたします。

◎「保安業務」は無料で行います。「消費設備」の修理や改善が必要な時は有料となります。

周知

年1回または2年に1回
使用上の注意点や事故を起さないための
情報などを定期的に文書でお知らせします。

緊急時連絡と緊急時対応

ガス漏れなどの時、すみやかに対応します。
緊急時は30分以内に無料対応
緊急時の連絡先は夜間・休日も対応

